

学校教育目標		目指す子どもの姿(中・長期的目標)				総合評価				
よく気づき よく考え よく働き 進んで学ぶ子ども		1 自分で気づき 自分で考え 進んで学ぶ子ども(向上心) 2 よく働き 最後までやりぬく子ども(意志力) 3 手足を動かし 頭を働かせ 豊かに感じとれる子ども(豊かな情操) 4 一人一人のよさを認め 助け合える子ども(共生) 5 安全に気をつけ 進んで身体をきたえる子ども(健康安全)				学校に入るとすぐに子どもたちがあいさつで迎えてくれた。日頃からあいさつには子どもたちも職員も大事にしていることが伝わってきた。掃除についても多くの子どもたちが丁寧に拭き掃除を行っていた。特別支援学級では、その子に合わせた支援をしたり、配慮をしたりしていた。授業では、子どもたちの発言も多く一生懸命取り組んでいた。今後は、東小の課題をもとに、学力向上や表現力をさらに伸ばして欲しい。				
		今年度の重点目標				A	B	C	D	学校関係者による意見
		【今年度の東小合言葉】 やさしく 話し あたたく 聴く					○			職員間の課題の共有があり、「東小らしさ」を求めて、それぞれ自分の果たすべき役割を自覚した上で取り組んでいる姿が見られた。さらに自信をもって推進して欲しい。運動会の児童や職員の行動や運営を見て、まとまっているという成果が見られた。それぞれの目標を達成する工夫を先生方が大事にしていた。参観中、子どもたちが声をかけてくれ、豊かな心が育っていると感じた。
		【なるほど！そういうことか！】 学力向上の基盤をつくる(知)					○			
		【聴こう みがこう 心と言葉】 豊かな心を育てる(徳)					○			
		【ためるぞポイント 伸ばすぞ体力】 健康な体を育む(体)					○			
※評価【A:十分 B:ほぼ達成 C:不十分】該当箇所に○をしてください。										
領域対象	評価項目	評価の観点				評価				学校関係者による意見
		A	B	C	D	A	B	C	D	
教育活動	教育課程・学習指導	1	聴く・伝える	・子どもたちが興味関心を持ち、聴こうとする学習提示があったか。 ・話し合いの時間が確保され、友の意見に耳を傾け、自己の考えをさらに深められる機会となっていたか。 ・自分の考えを相手にわかるように伝えようするため、具体的にわかりやすい伝え方の指導をしたか。		○				・授業中、発言した児童の考えたことを板書し、個々のネームプレートが必ず添えられ、誰の考えなのかわかるように整理されていた。思考を重ねるうえで、重要な指導をされていると感じた。 ・話し合いがしやすいように机を並べたり、意見を出した子どもにネームプレートを使って示したり、一人一人を大事にした教育がされていた。子どもたちの意欲を高める工夫がみられた。
		2	基礎基本の確実な習得	・学習のねらいが明確とするため、わかったこと、できたことを振り返る時間が位置づけられたか。 ・ドリルの時間の内容が基礎的事項の定着につながったか。 ・1時間の中に、書くことを位置づけたことで、自分の考えが明確になっていたか。		○			・「書く」という活動が定着をはかる上で大切である。授業の中で大事にしている姿が見られた。	
		3	たくましい体づくり	・校庭や体育館で積極的に体を動かし遊ぶため、体を動かすことのよさを体感させる指導をしたか。		○			・体を思いっきり動かして遊んだり運動をしたりする姿もあったが、全体に広がっていき、日常的に行っていくことで、学びの質がさらに変わっていくと思う。 ・体育の授業で一人一人の活動量が多くなるような場の設定をしていて、子どもたちが意欲的に取り組んでいる。	
		4	心を磨く清掃	・清掃の仕方の指導をし、定着しているか。 ・無言で行うことの価値を伝えたことで、無言で集中し、責任を持ってやり遂げようとしていたか。 ・自分の気づきが活かされた清掃とするため、自分の気づきを振り返る機会が保障されていたか。	○				・清掃では、落ち着いて自分の役割を理解し、果たそうとしている姿が見られた。ぜひこの雰囲気を持って欲しい。 ・清掃の仕方の指導により、子どもたちは一生懸命取り組んでいるが、なかなか意識が向かない子どもへの関わりを今後考えて欲しい。 ・拭き掃除の丁寧さに驚かされた。黒くなった雑巾を見て、日々のがんばりが伝わってきた。	
生徒指導	1	響くあいさつ	・子どもたちが自分から挨拶をするように教師が率先して挨拶を投げかけたか。		○			・相手がどんな人であるか、わかってあいさつをする姿が見られた。 ・自分から進んであいさつをして子どもが見られた。		
	2	人間関係作り	・人のつながりを友達関係のあり方を見つめ直す日々の学級指導、道徳教育ができていたか。 ・日常から子どもたちのよさをクラス全体に広めようとしたか。		○			・仲間や関わりを意識する学級づくりの雰囲気を感じた。 ・地域の農業や歴史を通じ、子どもたちの姿や学習の足跡から、理解を得ることができているように思われる。		
学校運営	地域との連携	1	地域素材の教材化による学習の充実	・地域に出かけ、人との関わりが授業づくりに結びつけたか。 ・総合など地域学習を学年に一度は位置づけたか。	○				・自分の五感をフルに働かせて、体験的に納得の得られる活動が、授業や子どもたちの姿から実践されていると感じた。	
		2	キャリア教育	・地域の名人、達人を授業に招き、子どもたちが地域のよさ、人のすばらしさを感じたり、学んだりする機会となったか。 ・自分の生き方について考える素地ができたか。		○			・リンゴ農家の学習を続けているということで、苦労や喜びを学ぶことを通して、その人の生き方や地域のよさを感じ取ってほしい。とてもいい活動である。	
		3	地域・PTAとの連携	・地域のボランティアの方々の力が学習に活かされたか。 ・学校便り、学年便りなどを通して、保護者の学校への理解を深めようとしたか。	○				・どんな小さなこと、些細なことでもわかる範囲で、情報を共有し、発信することが、今後活動を広げていくうえで大事だと思う。おたよりも写真が多く読みやすい。 ・地域ボランティアの方々によるクラブ活動や学習体験が、子どもたちの取り組みに生かされている。子どもたちも楽しそうに活動していた。	
	研修	1	子どもが自ら動き出す授業を目指す	・授業公開を通して、互いの授業を見合い授業改善に取り組んだか。 ・児童の発言を大事に、学習が深まる授業に取り組めたか。		○			・子どもが目を輝かせる授業、子どもの側に立った指導力アップのための研修など、授業をお互いに見合っていくことも大事にしていってほしい。	